

著書紹介

著者自らが新刊を紹介します。



紫式部日記論

文学部・教授・久保朝孝

- ▶ A5判 ▶ 342ページ ▶ 武蔵野書院
- ▶ 本体7,000円＋税 ▶ 2020年6月27日発行
- ▶ 混迷をさわめる『紫式部日記』の成立過程論に、従来の研究成果を摂取しつつまったく新たな見解を提示する第一章を始めとして、多様性を抱える同作品の種々相について精緻に論じた著者積年の論考を収める。武蔵野書院創業百周年記念出版。

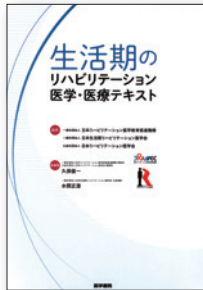


女同士の絆

—レズビアン文学の行方—

文学部・教授・平林美都子(編著)

- ▶ 四六判 ▶ 256ページ ▶ 彩流社
- ▶ 本体2,500円＋税 ▶ 2020年3月31日発行
- ▶ レズビアン文学批評の大きな進展は二十世紀末からほぼ止まっている。本書ではレズビアン文学として読める英米カナダ文学作品10点を取り上げ、その表象の変遷を歴史的に辿った。関連する映画、エポック・メイキング小説、レズビアン文学作品選書リストを付けた。



生活期のリハビリテーション 医学・医療テキスト

健康医療科学部・教授・和田郁雄(共著)

- ▶ A4判 ▶ 230ページ ▶ 医学書院
- ▶ 本体3,200円＋税 ▶ 2020年2月15日発行
- ▶ 分担執筆にて、「IV.生活期のリハビリテーション医療の対象疾患・障害・病態」のうち、「4.小児疾患」を執筆。様々な疾患や多様な障害をもった子ども達の障害内容とその基盤となる疾患に関して概説するとともに、彼らが日常生活を送る上での問題点と介入方法についても述べた。



現代アフリカ文化の今

—15の視点から、その現在地を探る—

ビジネス学部・助教・菅野淑(共著)

- ▶ A5判 ▶ 208ページ ▶ 青幻舎
- ▶ 本体2,500円＋税 ▶ 2020年5月30日発行
- ▶ これまで西洋の視点から語られることが多かったアフリカは、いま、グローバル化のもと、独自の芸術や文化を新たな地点へと育み、価値を見出しはじめている。本書は、社会や建築、音楽やファッションなど15の領域から、アフリカ文化の“今”を探っている。第三部中の「日本社会に生きるアフリカ地域出身者たち」を担当。